

II-202 濑戸内海区域の汚濁負荷量に関する考察

国立公衆衛生院，正，南部 勝一，○真柄 泰基

1. はじめに。

瀬戸内海区域の水質汚濁に関する調査研究の多くは、各府県等地方行政単位で行なわれてきており、かならずしも瀬戸内海区域を総合的に扱ってはいる。そこで論者らは、瀬戸内海全域での水質汚濁の状況を知ることを目的として、瀬戸内海を8つの海域に区分けし、各海域に流入するBOD量を推定した。

2. 方 法

BOD量は、瀬戸内海区域を図-1に示すように8つの海域に区分けし、さらに各海域に流入する各河川の流域に従って32のブロックに分け、各ブロックの人口、工業出荷額等の資料を各関係府県から得、それぞれの原単位を算じて求めた。資料は1962年、1967年の実績(ただし、1962年の清掃事業の資料が入手出来なかつたので、1962年の清掃事業はなしものとした。)と1980年の予測値を用いた。(ただし1980年は下水道普及率-50%，糞尿処理率-50%とした。)

BOD原単位は表-1に示す値を用いた、この原単位は瀬戸内海沿岸各府県の調査資料を整理検討して求めたものであるが、資料数が少い業種については経済企画庁の統計資料を導用して。

家庭下水によるBOD原単位は大阪府における施設からの調査結果を用いた。家庭下水を下水処理した場合のBOD除去率を90%，糞尿を下水道に投入処理した場合は糞尿分についてのみ90%，糞尿処理場あるいは浄化槽で処理した場合は糞尿分について60%，農村還元処理した場合は糞尿分について100%のBOD除去率が期待できるとした。

また、海域の負荷強度として、各海域単位面積当たり流入するBOD量($BOD, t/Km^2$)を求めた。計算にはIBM-360モデル75を用いた。

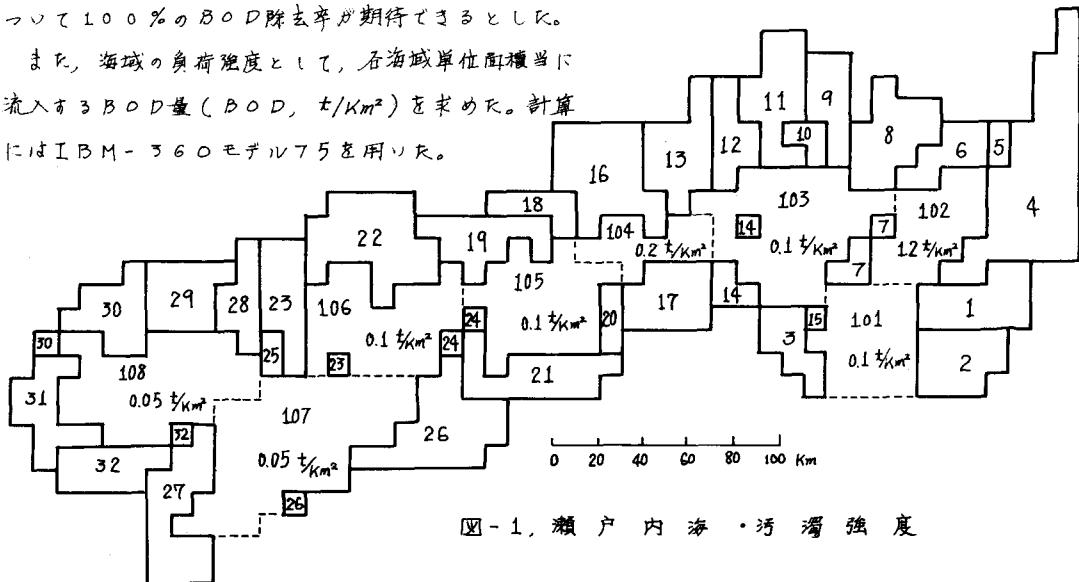


図-1. 濑戸内海・汚濁強度

表-1. 各種産業用水の原単位

産業分類	18~19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
水量 t/day	1.14	1.28	0.12	0.18	1.31	9.4	0.19	3.45	0.64	0.74	0.38	3.04	2.69	0.90	0.44	0.46	0.23	0.48	0.23	0.80
BOD t/day	370	255	60	15	15	430	15	120	80	15	1800	15	20	20	15	15	15	15	15	15

3. 結果および考察

図-2に示されるように大阪湾のBOD負荷が他の海域に比べて圧倒的に多い。今回の計算では、淀川上流の京都府、大和川上流の奈良県から流入するものについては加味していないので実際にはさらに高い負荷を大阪湾は受けているものと想われる。各海域共、産業廃水による負荷が大きいことを示しており、それらのうち図-3に示されるようにペルプ・紙工業、食料品工業、化学工業、繊維工業の特定の産業によっての負荷が多いことが分る。

1962年の家庭下水からのBOD負荷は清掃事業がなものとしていたことと、毎年次にあける人口の変化がほとんどない。次にこれを考慮すれば、毎年次の家庭下水からのBOD負荷量の推移は下水道、レギュレーション施設の水質汚濁防止に果す役割が大きくなることを示している。これに対して、1980年に産業廃水が現在の技術程度(BOD除去率70%，廃水濃度が70mg/l以下では処理水濃度20mg/l)まで処理されるとして推定しても、1967年の産業廃水によるBOD負荷より少なく、瀬戸内海各域を現状以上汚濁させまいために、産業廃水処理を充分にしなければならぬ。それには、先に記した特定の業種からの排水をまず処理することであろう。

瀬戸内海各域の1967年の負荷強度を図-1に示して。

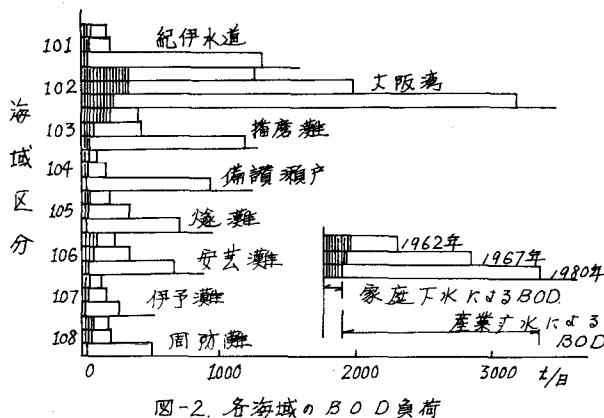


図-2 各海域のBOD負荷

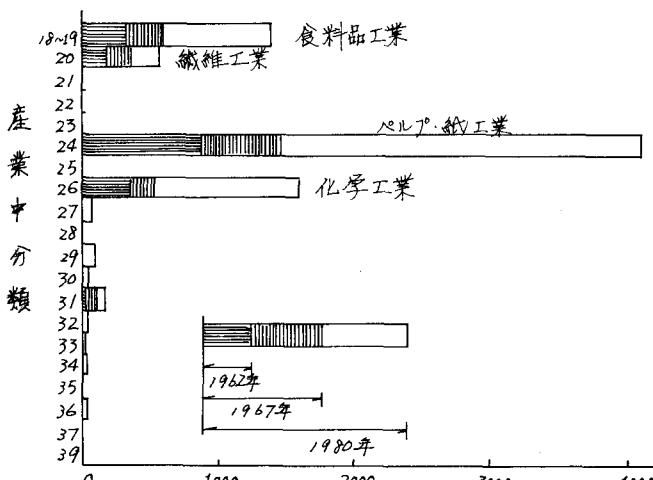


図-3 各種産業によるBOD排出量

大阪湾では海域1km²当たり1.2tものBODが流入していることになる。この値は海域に一様に分布するものとして値であるので、沿岸部ではさらに高い値となるであろう。またBOD負荷では小さな値である瀬戸内海中央部が負荷強度を大きくしており、瀬戸内海で外洋の海水と交換するがゆえにこれらの中の海域の負荷強度が高くなることは注意を要するであろう。この傾向は1980年ではさらに顕著となる。

この研究は瀬戸内海沿岸府県で構成されている「瀬戸内海をきれいにする協議会」の協力を得て行なったものである。おりにこの研究に種々の便宜を計って下さった厚生省、加藤三郎技官、ならびに関係府県の方々に謝意を表します。

参考文献

1. 摂場・望之、「家庭下水の負荷量原単位に関する研究」、第8回下水道研究発表会。(1971)。